

科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術会議有識者議員との会合 議事概要

- 日 時 平成 24 年 9 月 6 日（木）10:00～11:08
- 場 所 合同庁舎 4 号館第 3 特別会議室
- 出席者 園田政務官、相澤議員、奥村議員、今榮議員、青木議員、中鉢議員、大西議員、倉持統括官、中野審議官、吉川審議官、大石審議官

○ 議事概要

議題 1. 平成 25 年度科学技術戦略推進費概算要求方針（案）について

- 相澤議員 議題の 1 つ目は、平成25年度科学技術戦略推進費の概算要求方針案についてでございます。前回から議論を重ねて頂いておりますが、本日はこの内容をまとめて頂きたいと思っております。それでは、説明をお願いします。

<内閣府 鈴木参事官から説明>

- 相澤議員 只今の説明の内容が盛り込まれた形で、来年度の戦略推進費概算要求方針とするということでございます。皆様の御意見が反映された形で最終案としてまとめられておりますが、この段階で全体を見て頂いて、お気付きの点、更なる御意見ございましたらお願い致します。一番重要な所は、「2. 重要政策課題への戦略的対応等」に盛り込まれている所でございます。

- 中鉢議員 「2. 」で書き加えられる、これは正しいと思っておりますが、平成24年度とどこが変わったのだろうかということ、この参考資料に書いている平成24年度と平成25年度の概算要求の方針、このことに触れるべきではないかと思っております。これで十分触れられているか、特出しをして平成25年度の考え方というか経緯というか、それを示すべきではないかと思っておりますが、如何でしょうか。

- 事務局（鈴木参事官） 恐らく平成24年度と平成25年度どう変わったかというところかと思っておりますが、「参考」のパワーポイントの資料を御覧頂ければと思っております。あまり明示的に、すごくよく分かるように書いてはいないのですが、【重要政策課題の戦略的対応等】の、先程相澤議員からありましたように、1 番目の「○」の政策立案調査、これは従来からやっていたものであります。更に加えて、その次の戦略的推進のための取組というところに平成25年度は重点化ということで、そこが平成24年度との差分といいますか、強調してこのところに重点化を図っているという部分であります。

もう一つは、下に【その他のプログラム等】という項目がございますが、ここは、従来科学技術戦略推進費によって行われていた部分であります。行政事業レビューの公開プロセスなどの指摘を踏まえまして、引続き総合科学技術会議として関与を行うことになる訳ですが、要求の形態として、この吹き出しの一番下に書いてありますように、「文部科学省の戦略推進費以外の目定事業として実施」するというのが大きく違うところあります。

- 中鉢議員 そのことがこちらの文章に反映されているかということ、必ずしもこれだというものではなく、「平成25年度はこうだ」というものですね。特に前段の「基本的考え方」は、総合科学技術会議に期待されていることが多いですが、これまでと同じではないかという印象を与えるのではないかと思います。何となく物足りないなという印象です。発展的に特化するとか、司令塔機能を

発揮しながら、「これを損なうことはありません、もう少し戦略推進費をこう使っていくのです」と。そういうことを書くと何かまずいのですか。

○相澤議員 御指摘の点は、「2.」の部分が、表現としてももう少しということだとは思いますが、「3.」以下はこれまでのところを継続して行く。ただ、運営形態が基金の管理の面で変わるということですので、「3.」以下は平成24年度のもをそのまま踏襲ということですが、「2.」の中で、第1パラグラフが今回の新規のところ、第2パラグラフは平成24年度も行っていた機動的対応という部分です。こういう切り分けなので、先程の鈴木参事官の説明も、そういうことを明確にしているという意識でございます。

その他の御指摘はございますでしょうか。それでは、科学技術政策担当大臣等政務三役と総合科学技術会議有識者との会合としては、この内容を御了承頂けますでしょうか。（異議なし）有難うございました。

議題2. 平成25年度科学技術予算の重点化について（非公開）

- 平成25年度重点施策パッケージ特定及び基礎研究・人材育成関連施策に関する日程・体制（案）について
- 平成25年度アクションプラン対象施策の特定（案）について

（有識者議員の率直な意見交換の場とするため非公開）

（以 上）